



那覇市制施行90周年記念

広報

なはし

市民の友



第734号 毎月1回発行
2012年(平成24年)

3月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2012(平成24)年1月末現在	
総人口	320,706 (2,208)
男	154,781 (1,122)
女	165,925 (1,086)
世帯数	138,826 (1,288)

住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 丸正印刷(株)

忘れない…東日本大震災

～これからも被災者・避難者へ温かいご支援を～

東北や関東地方に大きな被害をもたらした東日本大震災。間もなく1年が経とうとしています。国を挙げて被災地の復興に取り組んでいますが、今なお、傷跡は深く残っています。多くの方々が愛する故郷を離れ、帰ることができません。

私たちは、3.11あの日のことを忘れない…。そして、これからも被災された方々、避難されている方々への支援を続けます。

一日でも早く、被災地に笑顔を取り戻すために、あなたの温かいご支援を。

震災発生後、市はいち早く被災者・避難者の支援に取り組みました。

地震発生直後には上下水道局職員を被災地へ派遣。続いて消防職員、保健師を現地へ派遣し、被災者の生活支援に努めました。また、市の呼びかけに多くの市民、企業、団体から毛布やタオルなどの救援物資や、義援金(約4,400万円。平成24年1月末現在)が集まり、被災地(者)へ届けることができました。

市内へ避難した方々には、市営住宅の無償提供を行いました。企業からは、クーラーやガスコンロ、常備薬、お弁当などが提供され、避難者の不慣れな沖縄での生活を支援しました。その他、避難者同士の交流を深めてもらおうと市社会福祉協議会による「被災避難者交流会」が開催されるなど様々な取り組みが行われました。

多くの方々にご支援いただき、うちなーのちむぐくるを、被災者や避難者のみなさんに届けてきました。

しかし、東日本大震災は未曾有の大震災。被災地の復興にはまだまだ多くの時間と、多くの労力が必要です。市では、これからも市営住宅の無償提供をはじめ、被災地へ職員派遣、義援金などの支援活動を継続していきます。※義援金箱は、仮庁舎A棟1階の総合窓口や首里、真和志、小禄の3支所に設置しています。

まだ、大震災を過去の出来事にはできません。これからも「一人 助き助き(チュイタシキ、タシキ:1人ひとりの助け合い)」の心で被災者・避難者へのご支援、ご協力を宜しくお願いします。

(関連記事3面)

お問い合わせ:総務課☎862-9911



弁当無償提供事業者への感謝状贈呈式

2月1日(水)、東日本大震災の影響で市内に避難してきた方々へ昼食用お弁当を無償提供した4つの弁当店に、翁長市長から感謝状を贈りました。

感謝状が贈られた、「EM玄米弁当ザヤの店」「チャーガンジュー」「ヘルシーキッチン」「桜(もみじ)弁当」の4つの弁当店は、那覇市健康づくり協力店として市が認証した事業者。大震災発生後に市へ無償提供(支援)を申し出ました。震災直後から去年の10月まで、避難してきた20世帯に弁当の無償提供と自宅配達を行いました。



健康増進には、毎週水曜日と土曜日にランドゴルフで汗を流し、終了後には美化活動の公園内清掃や花壇作りを行います。



3月頃にユリが満開!

大石公園入り口には、花木を植えるための緑化ウォールがあるのですが、当初は管理する人がいなくて、雑草が伸びていました。識名一丁目自治会が平成19年10月に那

健康増進には、毎週水曜日と土曜日にランドゴルフで汗を流し、終了後には美化活動の公園内清掃や花壇作りを行います。

公園には、テニスコートやランドゴルフ、ゲートボール場などの多目的広場、遊歩道、遊具施設などが設置されています。

71メートルの丘の頂上からの眺望は素晴らしい、新都心のビル群をはじめ市街地や遠くは慶良間列島が一望できる景勝地です。

公園には、テニスコートやランドゴルフ、ゲートボール場などの多目的広場、遊歩道、遊具施設などが設置されています。

健康増進には、毎週水曜日と土曜日にランドゴルフで汗を流し、終了後には美化活動の公園内清掃や花壇作りを行います。

公園には、テニスコートやランドゴルフ、ゲートボール場などの多目的広場、遊歩道、遊具施設などが設置されています。

地域の癒し場 ユリ公園

Q 今後の取り組みについて
残念ながら、現在の自治会加入率が約10%なので、会員増進運動に取り組んでいます。今後は子ども会も作って、子どもも大人も一緒に美化活動に取り組んで、大石公園をユリ公園、桜公園にしていきたいです。

Q 主な活動場所
主に大石公園です。標高約71メートルの丘の頂上からの眺望は素晴らしい、新都心のビル群をはじめ市街地や遠くは慶良間列島が一望できる景勝地です。

Q 自治会の紹介
識名一丁目自治会は、平成13年4月に設立し、今年で11年目を迎えました。

自治会では、地域のみなが安全で住みよい街づくりをめざして防犯パトロール、健康増進や美化活動など日々頑張っています。

第14回は、那覇市協働大使の識名一丁目自治会会長小渡陽元さんです。

第14回は、那覇市協働大使の識名一丁目自治会会長小渡陽元さんです。

第14回は、那覇市協働大使の識名一丁目自治会会長小渡陽元さんです。



識名一丁目自治会会長 小渡 陽元さん



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第14回
識名一丁目自治会

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846

「いい暮らしより 楽しい暮らしを」～人と人が支え合う協働により、心の豊かさを感じるまちを目指して～